

III 警 防 編

1 消防力の現況（平成27年12月末日）

（1）消防職員の現況

区 分	消 防 本 部	中 央 署	西 署	合 計
警 防 要 員		105	39	144
救 急 要 員		33	12	45
警 防 ・ 救 急 要 員			75	75
予 防 要 員	10	4	2	17
そ の 他 の 要 員	38	1	2	40
合 計	48	143	130	321

（2）消防団員の現況

区 分	警 防 要 員	本 部 要 員	合 計
釧 路 市 消 防 団	447	6	453

（3）消防水利（地域別消防水利施設現勢表）

地区	水利	公 設			
	消 火 栓	防 火 水 槽 (40m ³ 級)	耐震性貯水槽 (100m ³ 級)	指 定 水 利	計
大 楽 毛	199	11			210
鉄 西	254	34			288
白 糠	126	43			169
阿 寒	87	13			100
阿 寒 湖 温 泉	24	8		1	33
音 別	22	26			48
愛 国	152	31			183
鉄 北	227	35			262
橋 北	120	47	1	1	169
橋 南	315	86	1	3	405
春 採	149	31			180
白 樺	37	2			39
合 計	1,712	367	2	5	2,086

(2) 出動計画

ア 消防部隊出動計画

市街地における防火対象物の建ぺい率、構造率、年間平均風速、消防水利、消防車の走行速度等々、燃焼消火のエネルギー関係を科学的に分析し、次の基準で出動計画を決めている。

(ア) 火災出動計画

第1出動	6台～7台	火災を覚知した時
第2出動	10台～12台	先着指揮官の要請又は異常気象時
第3出動	18台～19台	現場指揮官の要請
特命出動	必要台数	災害状況に応じて指揮官の要請

(イ) 救助救急出動計画

覚知時 3台～5台(救急車含む)

特命出動 必要数

(ウ) 警戒出動計画

覚知時 1台～2台

イ 非常災害時出動計画

地震災害時、烈風時火災、豪雪時火災、水災等、それぞれの災害を分析し釧路市消防警防規程及び釧路市消防警防規程運用要綱を定め、消防部隊の強化を図っている。

ウ 石油コンビナート等特別防災区域内出動計画

当市の石油貯蔵基地は石油コンビナート等災害防止法に基づき西港区域が特別防災区域として指定されており、北海道石油コンビナート等防災計画に則り、化学車等を基本に特別防災区域出動計画を定めている。

(3) 災害活動に対する民間協力体制の確立

消防は隊員とこれが装備する資機材によって、各種災害に対応しなければならない。しかし、消防が有する装備と資機材のみによって対応しがたい場合があり、その対応策が強く望まれていた。

このような時に、市内の特殊資機材を有する民間企業が消防の行う活動に協力する目的をもって『釧路市救助協力会』が発足し、釧路市民を災害から守る防災対策が一層強化された。

ア 設立 昭和56年4月22日

イ 組織 6部会 31事業所

(4) 林野火災及び大規模災害に対処する防災体制の確立

釧路市愛国191の1に『空中消火等補給基地』(ヘリコプター離着陸広場 12,830 m²、40m³級貯水槽1基、資機材保管施設1棟、消火剤散布装置4基)が昭和61年11月29日に完成をみた。この基地完成により、湿原、山林火災の消火及び災害時の救助救急等防災対策が一層強化された。

3 火災・警戒出動概要

平成 27 年中の出動状況は 64 件の火災が発生し、車両延べ 410 台、職団員延べ 1,869 名が出動し消防活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 火災出動状況

区分 月	火災件数	出 動 台 数 (台)			出 動 人 員 (名)		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
1 月	7	39	7	46	135	82	217
2 月	4	14	2	16	54	14	68
3 月	7	50	14	64	186	133	319
4 月	13 (1)	65	11	76	246	103	349
5 月	4 (2)	15 (7)	4	19 (7)	51 (21)	19	70 (21)
6 月	3	20	4	24	70	36	106
7 月	6	38	10	48	148	90	238
8 月	2	5	0	5	18	0	18
9 月	5 (2)	27 (10)	6	33 (10)	82 (35)	40	122 (35)
10 月	7	44	7	51	141	70	211
11 月	3	11	3	14	44	32	76
12 月	3	12	2	14	50	25	75
合 計	64 (5)	340 (17)	70 0	410 (17)	1,225 (56)	644 0	1,869 (56)

※ () は、白糠町の内数

(2) 過去 5 年間の火災出動状況の推移

区分 年	火災件数	出 動 台 数 (台)			出 動 人 員 (名)		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
平 成 23 年	79(15)	445	101	546	1,896	1,013	2,909
平 成 24 年	63(5)	375	80	455	1,460	770	2,230
平 成 25 年	66(7)	406	91	497	1,608	813	2,421
平 成 26 年	68(6)	345	78	423	1,215	626	1,841
平 成 27 年	64(5)	340	70	410	1,225	644	1,869

※ () は、白糠町の内数

(3) 過去5年間の警戒出動状況及び推移

分	年区	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	出動件数		720	(85)	917	(102)	912	(104)	799	(93)	1,415
	集合煙突	6	(1)	2		2		3		4	
	焚き火	4		7		6		1		1	
	電柱					2		3		8	(1)
	異常燃焼	6		11	(1)	9		6		7	
	油関係	104	(2)	106	(9)	112	(8)	124	(7)	123	(5)
	ガス関係	12		6		6		4		3	
	自火報	54	(2)	95		65	(2)	58	(1)	63	
	漏電警報器	1		3	(1)	2		1		0	
	非常警報	5		12		8		7		5	
	緊急ボタン	10		17	(2)	18	(3)	25	(4)	25	(3)
	危険排除	54	(4)	174	(14)	255	(18)	137	(6)	720	(47)
	その他	464	(76)	484	(75)	427	(73)	430	(75)	456	(67)
	出動台数	1,309	(165)	1,686	(204)	1,693	(203)	1,810	(203)	2,623	(262)
	出動人員	5,445	(629)	7,057	(797)	7,080	(757)	7,318	(728)	10,491	(942)

※ () は、白糠町の内数

4 救助出動概要

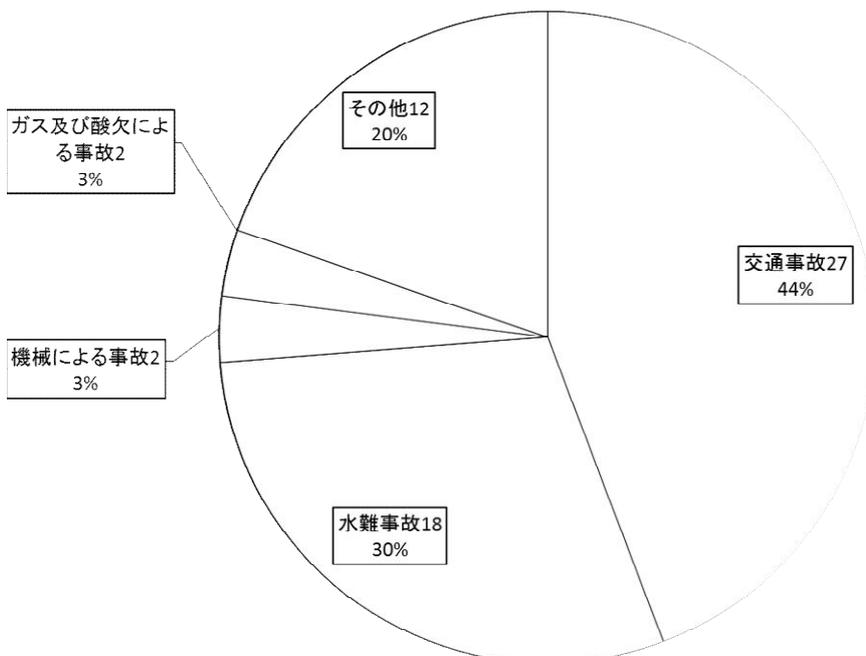
平成 27 年中の救助出動は 61 件発生し、車両延べ 303 台、人員延べ 1,164 名が出動し救助活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 前年比救助出動状況

年区	平成26年				平成27年			
	出動件数		救助人員		出動件数		救助人員	
出 動 件 数	56	(4)	48	(7)	61	(5)	59	(7)
交 通 事 故	25	(3)	30	(6)	27	(3)	35	(5)
水 難 事 故	19		9		18	(1)	11	(1)
自 然 災 害								
機 械 に よ る 事 故	2	(1)	2	(1)	2		2	
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故					2		1	
建 物 等 に よ る 事 故	1		1					
爆 発 事 故								
そ の 他	9		6		12	(1)	10	(1)
出 動 台 数	305		(15)		303		(22)	
出 動 人 員	1,202		(67)		1,164		(80)	

※ () は、白糠町の内数

(2) 事故種別救助出動状況



(3) 月別救助出動状況

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出 動 件 数	3	9	1	6	6	7	2	9	2	7	3	6	61
交 通 事 故	3	7		1	4	4		1		2	2	3	27
水 難 事 故			1	1	1	1	2	4		4	1	3	18
自 然 災 害													0
機 械 に よ る 事 故		1						1					2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故								1	1				2
建 物 等 に よ る 事 故													0
爆 発 事 故													0
そ の 他		1		4	1	2		2	1	1			12
出 動 台 数	11	31	8	40	28	35	11	38	11	42	15	33	303
出 動 人 員	45	144	24	160	109	130	39	153	36	144	57	123	1,164
救 出 人 員	3	9	1	8	7	7	1	7		6	4	6	59

(4) 署々別救助出動状況

区分 \ 署	中 央 消 防 署	西 消 防 署	合 計
出 動 件 数	28	33 (5)	61 (5)
交 通 事 故	6	21 (3)	27 (3)
水 難 事 故	12	6 (1)	18 (1)
自 然 災 害			
機 械 に よ る 事 故		2	2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故	2		2
建 物 等 に よ る 事 故			
爆 発 事 故			
そ の 他	8	4 (1)	12 (1)
出 動 台 数	161	142 (22)	303 (22)
出 動 人 員	591	573 (80)	1,164 (80)
救 出 人 員	16	43 (7)	59 (7)

※ () は、白糠町の内数

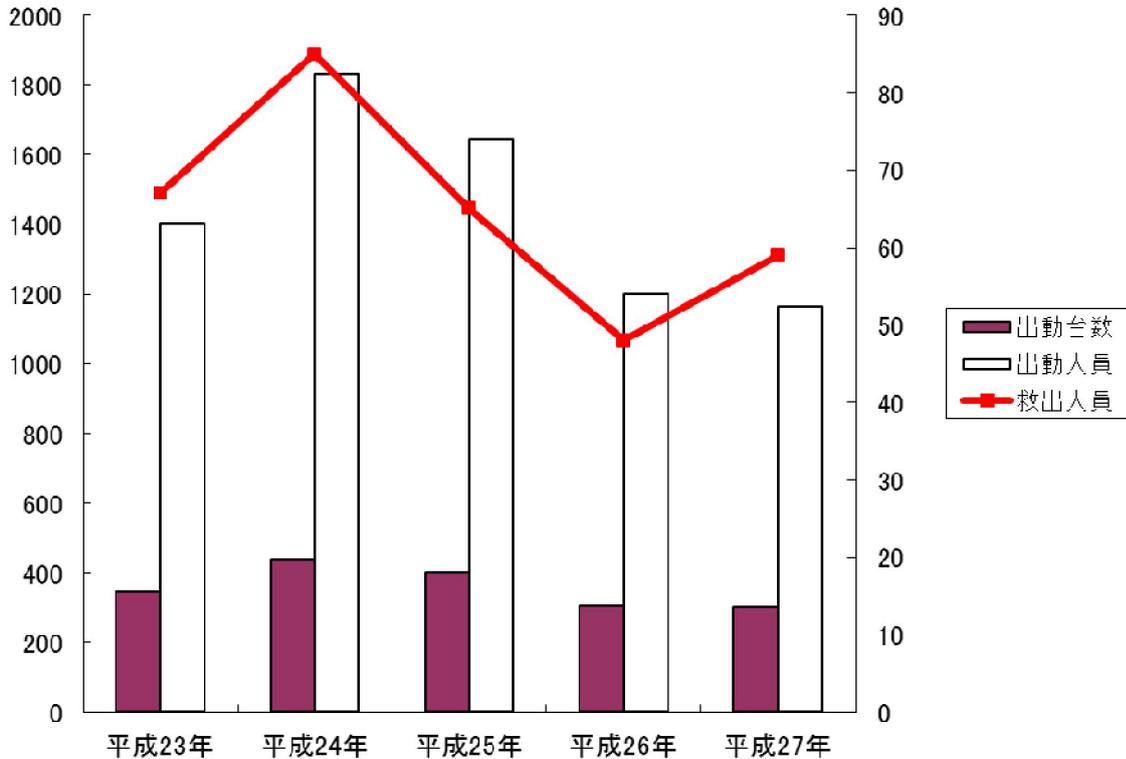
(5) 過去5年間の救助出動状況の推移

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出 動 件 数		73 (5)	87 (7)	72 (5)	56 (4)	61 (5)
交 通 事 故		37 (4)	45 (4)	25 (4)	25 (3)	27 (3)
水 難 事 故		19	26 (3)	24 (1)	19	18 (1)
自 然 災 害						
機 械 に よ る 事 故		1	2	2	2 (1)	2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故						2
建 物 等 に よ る 事 故		1		3	1	
爆 発 事 故						
そ の 他		15 (1)	14	18	9	12 (1)
出 動 台 数		346 (22)	438 (33)	403 (19)	305 (15)	303 (22)
出 動 人 員		1,405 (85)	1,833 (137)	1,642 (78)	1,202 (67)	1,164 (80)
救 出 人 員		67 (4)	85 (13)	65 (3)	48 (7)	59 (7)

※ () は、白糠町の内数

出動台数
出動人員

救出人員



5 消防通信

消防通信は、有線通信及び無線通信に大別され、それぞれの法令（有線電気通信法・電波法）に基づき運用されている。

(1) 有線通信施設

区分	種別	施設数	適用	
有線電話	1 1 9 回線	4 回線	INS回線（一般・携帯・IP全て重畳） 同時8回線	
	一斉指令・署所端末回線	31 回線	音声指令15回線 指令電送15+1（大規模）回線	
	指令台用局線	2 回線	INS回線、同時4回線	
	順次指令用局線	2 回線	INS回線、同時4回線	
	I T 情報端末装置	1 回線	FTTH	
	一般	加入電話	27(2) 回線	本部・署・分署・支署 1～12分団（INS回線・電話・FAX）
		災害情報自動案内	1 回線	災害等案内（NTT側設備で100回線）
		内線電話	259(12) 回線	本部・署・分署・支署 1～12分団（NTT専用線）
		北海道総合行政情報 ネットワーク専用電話	1 回線	本部総務課

※ 市イントラ用光ファイバーを活用し、多重装置で実現（指令回線・指令電送・内線回線・OA回線等）

※ 白糠支署 DA128 回線で指令回線・指令電送・内線回線等に活用

※ () 内は白糠支署内数

(2) 無線通信施設

区分・種別		施設数	適用		
無線設備	基地局	デジタル	5(1) 局	20W（中央消防署東分署・阿寒支署・阿寒湖温泉支署・音別支署・白糠町役場） →移動局、受令機の災害指令	
		アナログ	2 局	緊急消防援助隊・航空機等用	
	簡易基地局	デジタル	1 局	10W（仁々志別小学校）→陸上移動局の通信	
	固定局	デジタル	3 局	東分署基地局用アプローチ回線	
		アナログ	1 局	緊急消防援助隊・航空機等用	
	陸上移動局	卓上型	デジタル	21(2) 局	5W→署・支署11局、分団10局
		可搬型	デジタル	2 局	
		車載	デジタル	96(16) 局	
			アナログ	9 局	緊急消防援助隊・航空機等用
	携帯	デジタル	117(18) 局		
アナログ		61(7) 局	緊急消防援助隊・航空機等用		
受令機	デジタル	14(1) 台	本部・各署・各支署		
その他	携帯電話	26(3) 台	警防課2台、予防課1台、通信指令課2台、救急隊10台、消防隊6台、高速道路用4台、市立病院1台		
	衛星携帯電話	5(1) 台	警防課1台、救急隊4台（阿寒・阿寒湖温泉・音別・白糠支署に各1台）		

※ () 内の数字は白糠支署内数

(3) 無線チャンネル系統

		チャンネル						
緊急 通 信	一般	消防用	活動波 1	活動波 2				
		救急用	活動波 3	活動波 4				
	災害	情報用	活動波 5					
		指令用	活動波 6					
	大規模非常災害	消防用	活動波 1	活動波 2	活動波 3			
		救急用	活動波 6	活動波 4				
		情報用	活動波 5					
共通波	主運用波 4 (北海道)	統制波 1 統制波 2 統制波 3	アナログ波	<table border="1"> <tr> <td>全国共通波 1</td> <td rowspan="3">平成28年5月31日までの間において、緊急消防援助隊及び航空機等（防災ヘリ、ドクターヘリ）との情報連絡用に使用する。</td> </tr> <tr> <td>全国共通波 2</td> </tr> <tr> <td>全国共通波 3</td> </tr> </table>	全国共通波 1	平成28年5月31日までの間において、緊急消防援助隊及び航空機等（防災ヘリ、ドクターヘリ）との情報連絡用に使用する。	全国共通波 2	全国共通波 3
全国共通波 1	平成28年5月31日までの間において、緊急消防援助隊及び航空機等（防災ヘリ、ドクターヘリ）との情報連絡用に使用する。							
全国共通波 2								
全国共通波 3								

(4) 災害通報等受付件数

項目	火災	警戒	救助	救急	その他	合計
119番受付	89 (9)	910 (71)	35 (3)	8,363 (386)	7,208 (168)	16,605 (637)
119FAX	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
加入電話受付	7 (0)	269 (14)	10 (1)	173 (10)	47 (0)	506 (25)
警察電話受付	3 (0)	21 (1)	12 (0)	36 (1)	2 (0)	74 (2)
無線受付	0 (0)	9 (0)	1 (0)	13 (1)	0 (0)	23 (1)
駆け付け通報	1 (0)	6 (0)	0 (0)	21 (9)	0 (0)	28 (9)
その他	3 (0)	58 (4)	0 (0)	47 (1)	220 (20)	328 (25)
合計	103 (9)	1273 (90)	58 (4)	8,653 (408)	注 7,477 (188)	17,564 (699)

※ 各項目下段 () 内の数値は、白糠町の件数で上段の内数

注 合計欄その他の内訳

項目	問合せ	訓練	試験	誤報	いたずら	携帯転送	その他	合計
件数	638	1,451	1,308	784	468	53	2,775	7,477

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。(消防隊と救急隊が同時出動する火災、救助及び警戒出動は救急隊が出動していても救急受付件数には含まず、それぞれの災害項目に計上されます。)

6 研修及び訓練実施状況（平成27年実績）

（1）研修

種別	項目		対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
本 部 研 修	資格取得		大型自動車運転免許取得	8回	8人	
			無線従事者免許取得	1回	4人	
			潜水土資格取得	1回	2人	
	派 遣	病 院 実 習	救急救命士資格者	114回	53人	
		消防学校	初任教育前期	98日間	7人	
	初任教育後期		98日間	7人		
	専科教育救急科		34日間	6人		
	専科教育火災調査科		13日間	1人		
	特別教育はしご自動車運用課程		5日間	3人		
	特別教育薬剤投与講習		23日間	5人		
	道MC関係教育気管挿管再認定講習		1日間	11人		
	道MC関係教育処置拡大2行為講習		5日間	6人		
			第22期救急救命士養成課程	127日間	1人	
		市職員研修		釧路市職員研修計画による	11日間	117人
		新規採用職員研修		平成27年度採用職員	14日間	9人
	修	専科研修		上級救命講習	1回	9人
				水難救助特別教育	1回	4人
予防課程				35回	91人	
特別研修		消防職員意見発表会	1回	5件		
		消防職団員研究発表会	1回	7件		
所 属 研 修	係 別	消 防 隊 研 修	中央消防署	253回	285時間	
			西消防署	434回	561時間	
	研 修	救 助 隊 研 修	中央消防署	339回	464時間	
			西消防署	65回	111時間	
	修		救 急 隊 研 修	救急資格者研修	580回	782時間

(2) 訓練

種 別	項 目	対 象 及 び 内 容	期 間・回 数	人 員・時 間	
本 部 訓 練	演 習	春 季 消 防 演 習	観閲	1回	24台/350人
		秋 季 消 防 演 習	慰霊祭・団競技大会	1回	25台/400人
	各 種 訓 練	救 助 隊 員 養 成 訓 練	指定された隊員	26日間	32人
		消 防 活 動 技 能 訓 練	指定された隊員	60日間	95人
		救 助 技 術 訓 練 指 導 会 訓 練	指定された隊員	5月～7月	6人
		警 防 技 術 訓 練	指定された隊員	19日間	95人
		救 急 隊 員 訓 練	指定された隊員	13日間	21人
所 属 訓 練	係 別	消 防 隊 訓 練	中央消防署	1152回	1640時間
			西消防署	1,828回	2,121時間
	専 科	救 助 隊 訓 練	中央消防署	1,488回	2,388時間
			西消防署	295回	395時間
		救 急 隊 訓 練	救急資格者研修	1,323回	1,572時間

(3) 消防団

種 別	項 目	対 象 及 び 内 容	期 間・回 数	人 員・時 間		
研 修 訓 練	研 修	資 格 取 得	自動車運転免許(大型・中型)取得	1回	4人	
		特 別 研 修	女性消防団員研修		1回	29人
			機関教養		15回	150人
			予防教養		48回	507人
			視 察 研 修	消防団員技能競技大会視察	1回	23人
		鉦 路 市	消防団員基礎教育	1回	6人	
		北海道消防学校入校	消防団員幹部教育	1回	1人	
	競 技 大 会	鉦 路 市 消 防 団 員	ポンプ自動車・小型ポンプ	8ヶ分団	37人	
		北 海 道 消 防 協 会 鉦 路 地 方 支 部 消 防 団 員 技 能 競 技 大 会	鉦路市(9月12日) ポンプ自動車・小型ポンプ	8ヶ分団	37人	
	規 律 訓 練	規 律 訓 練	訓練礼式	79回	392人	
			競技訓練	130回	883人	
		防 ぎ よ 訓 練	署・団合同訓練	27回	410人	